

博士人材のキャリアパスの把握・可視化に向けて －博士人材データベース・博士人材追跡調査－

文部科学省科学技術・学術政策研究所

第1調査研究グループ

岡本拓也

2015年2月9日



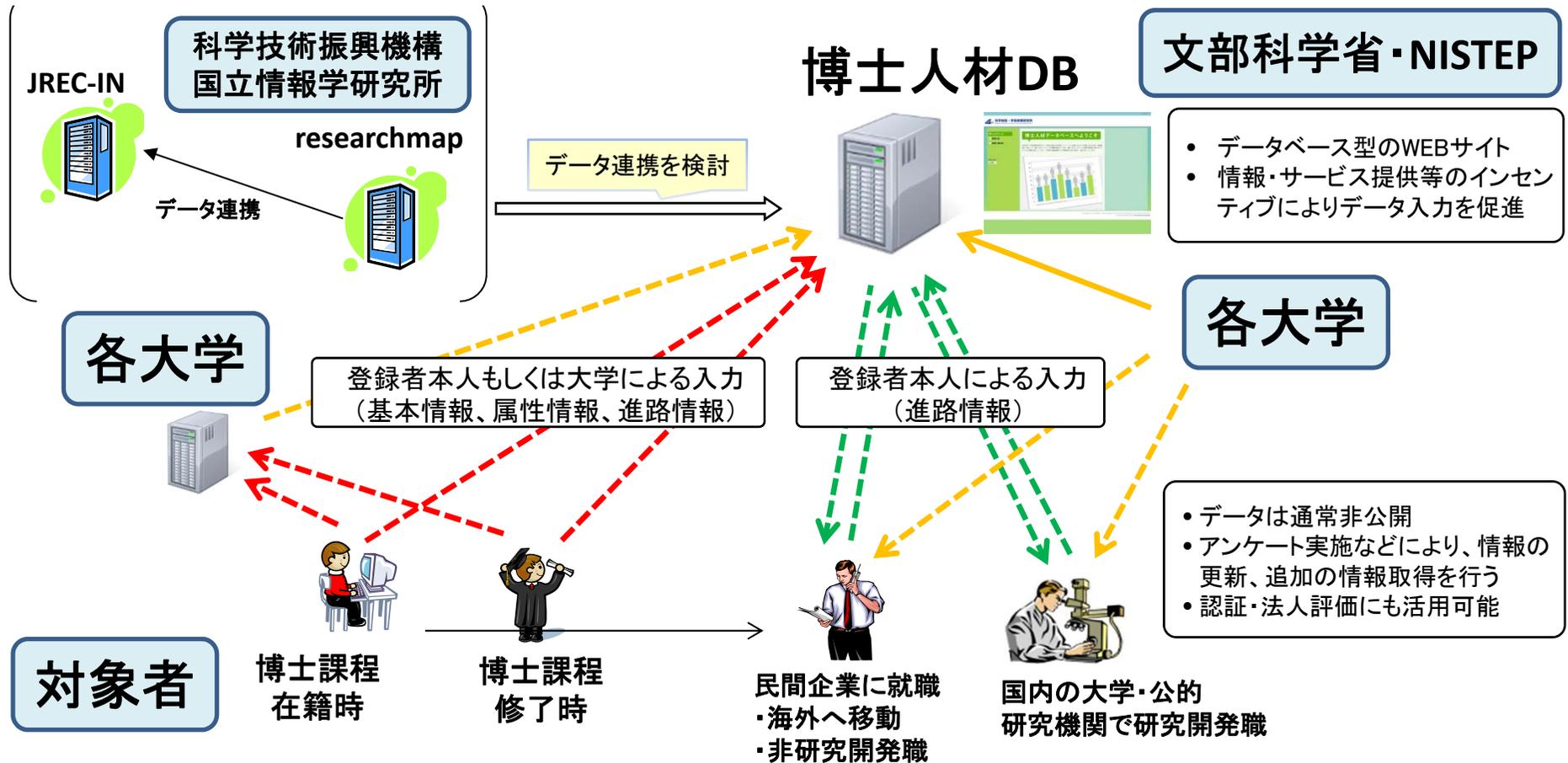
本日のテーマ

- ◆ 我が国の大学院博士課程修了者の進路情報の継続的な把握・可視化によるキャリアパスの展開状況の明示
⇒ 優秀な学生の博士課程への進学促進
- ◆ 我が国の博士課程修了者のキャリアパスの把握・可視化に向けた具体的取組
 - 1) 継続的進路情報取得のプラットフォームとしての「博士人材データベース」の構築
 - 2) 「博士人材追跡調査」(パネル調査:同一人を対象とした数年にわたる継時的調査)の実施

博士人材データベース(DB)の概要

【目的・必要性】

- 大学院教育に対し、グローバル化や産業界のニーズに対応した博士人材の育成が求められている
- 博士課程修了後の進路情報の取得は限定的で、博士人材の社会での活躍状況を把握する体制が整えられていない
- 大学等との連携により、**博士課程修了後の継続的なキャリア追跡を可能とする情報基盤**として、博士人材DBを整備



博士人材データベース(DB)の概要

■ 登録対象者

- ✓ 国内の大学に在籍する
博士課程在籍者・修了者

■ 登録データ

- ✓ 基本情報 (生年月、性別、国籍等)
- ✓ 属性情報 (教育研究経験、経済的支援等)
- ✓ 進路情報 (職業、雇用形態、所在等)

■ 留学生も対象に日英表記

■ NISTEPは匿名化したデータを収集分析 大学には個別データをフィードバック

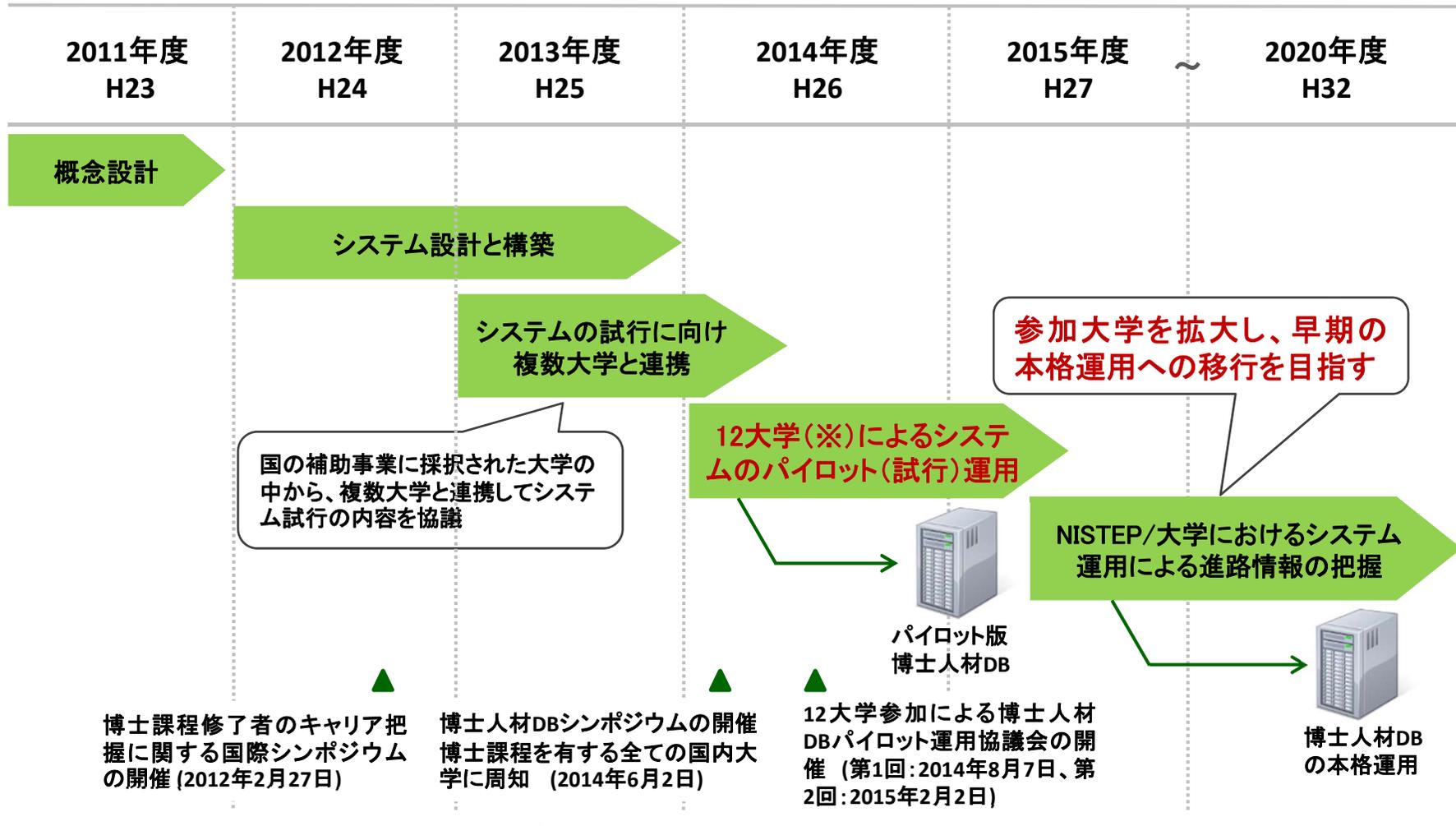
■ 博士課程修了者やポストドクター等を対象とした進路調査を実施する基盤として利用すると共に、修了年を特定した **パネル調査**の実施に必要な台帳として活用

博士人材DBの入力画面

日英選択

キャリアパスの把握・可視化に向けた取り組み

博士人材データベース事業の年次計画



(※)博士人材DBパイロット運用参加12大学:

北大、筑波大、東工大、慶大、阪大、奈良先端大、神戸大、広島大、岡山大、東京医科歯科大、東京農工大、お茶の水大



キャリアパスの把握・可視化に向けた取り組み
博士人材データベースの近時の状況

1. パイロット運用参加大学での博士課程学生に対する説明会

慶應義塾大学: 2014年10月8日(水)

奈良先端科学技術大学院大学: 2014年10月17日(金)

北海道大学: 2014年10月20日(月)

岡山大学: 2014年11月5日(水)ー6日(木)

内容: 後期博士課程学生に向け、NISTEPより博士人材DBの趣旨・目的について説明し、野村総合研究所より博士人材DBのデモを実施、参加者への御協力(データ入力)依頼を行う。⇒現在、順次データ入力開始。

2. 参加大学の拡大に向けた説明会

文部科学省での博士人材DBシンポジウム(2014年6月2日)に続き、西日本の未参加大学に向け、大阪大学・中之島センターにて説明会を開催(2014年10月27日:22大学参加)。

パイロット大学での説明会の様子



慶應義塾大学:2014年10月8日



奈良先端科学技術大学院大学:
2014年10月17日

キャリアパスの把握・可視化に向けた取り組み
博士人材データベースの現在の状況・近時の予定

3. 第2回「博士人材データベースのパイロット運用に関する協議会」
(2015年2月2日[月] 於:科学技術・学術政策研究所)

パイロット運用参加12大学に加え、東大、京大、九大、名大等11大学(※)がオブザーバー参加。

参加12大学におけるパイロット運用の状況、今後の本格運用に向けての検討課題、新たな参加大学の参加時期・手順等について議論。

⇒来年度早期より(本年4月以降)、参加大学が増加する見通し。

(※)東大、京大、九大、名大、早大、千葉大、熊本大、長崎大、東京理科大、電通大、豊橋技科大



第2回 博士人材DBパイロット運用協議会

4. 博士人材の進路追跡及びその手法等に関するシンポジウムの開催
博士人材の進路追跡やその手法等をテーマに、**2015年6月1日(月)**
14:00～18:00(予定)、**文部科学省3階第1講堂**にてシンポジウムを
開催予定(登壇予定者:五神東大新総長 他)。

キャリアパスの把握・可視化に向けた取り組み 博士人材データベースのパイロット運用への参加状況

大学名	後期博士学生数	8/7 パイロット 運用協議会参加	2/2 パイロット 運用協議会 参加	研究大学強化 促進事業	H25年度 WG参加
北海道大学	2,416	○	○	○	○
筑波大学	2,280	○	○	○	
東京工業大学	1,553	○	○	○	
慶應義塾大学	1,214	○	○	○	○
大阪大学	3,120	○	○	○	○
奈良先端科学技術大学院大学	297	○	○	○	○
神戸大学	1,589	○	○	○	○
広島大学	1,668	○	○	○	
岡山大学	1,231	○	○	○	
東京医科歯科大学	1,118	○	○	○	
東京農工大学	496	○	○		
お茶の水女子大学	466	○	○		
名古屋大学	2,285	○	○	○	○
京都大学	3,647		○	○	○
東京大学	6,037		○	○	
東北大学	2,735			○	
早稲田大学	2,072		○	○	
九州大学	2,694		○	○	
電気通信大学	257	○	○	○	
熊本大学	710		○	○	
豊橋技術科学大学	108		○	○	
千葉大学	1,226		○		
金沢大学	986				
新潟大学	726				
長崎大学	658	○	○		
東京理科大学	285	○	○		

※後期博士学生数は平成24年度データ、慶應義塾大学・早稲田大学・豊橋技術科学大学・東京理科大学は平成26年度データ
 ※上記色付き大学名は博士人材DBパイロット運用参加校(2014年8月時点で12校)

キャリアパスの把握・可視化に向けた取り組み
「第1回 博士人材追跡調査」の実施

(JD-Pro. ; Japan Doctoral Human Resource Profiling)

(調査期間: 2014年11月10日～12月26日)

パネル調査(同一個人継時追跡調査)の目的

- 同一個人を6～10年間追跡、継時的なキャリアパスを把握
- 博士の雇用指標の算定(就業率、失業率、賃金率等)
- 人材育成政策効果の検証、政策的知見を提唱
- 国際比較(米国、英国、フランス等の博士の状況との比較)

パネル調査の対象者・内容

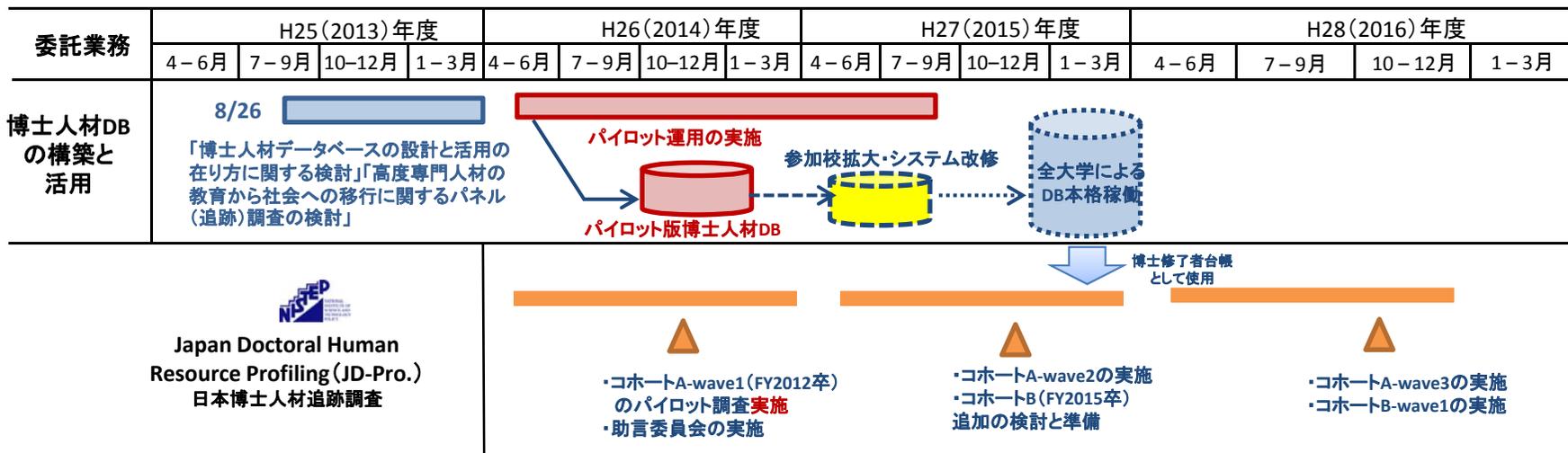
1) 調査対象

- 2012年度の博士課程修了者(約15,000人) **全員**

2) 調査内容

- 進路・雇用条件の詳細や生活状況、意識等を追跡的に調査(6～10年間程度)、博士人材の雇用状況、研究成果等を把握

博士人材追跡調査の年次スケジュール: 将来的には博士人材DBと統合して実施予定



第1回「博士人材追跡調査」の用途・実施スケジュール

<用途>

1. 就業状況やキャリア状況の雇用統計に即した把握
ー学位取得後の効率的キャリア支援(テニュア化含む)、非アカデミアへの進路拡大
2. 課程在籍中の教育内容や指導状況、経済的支援状況、主観的評価の把握
ー社会での活躍状況を見据えた、大学院教育・指導の充実、経済的負担の軽減
3. 研究費の取得状況と研究状況の把握
ー研究力向上に資する効果的な研究助成制度の設計
4. 人口学的情報の把握
ー家族形成期にある若手及び女性研究者への有効な研究支援

<実施スケジュール>

- 2014年11月10日(月) 調査開始
2014年12月26日(金) WEBによる回答締切



第1回「博士人材追跡調査」の回収状況と回答者の声

最終回答状況(平成27年1月6日確認)は、

日本語版による回答数 4,837名
英語版による回答数 390名 計 5,227名

自由回答欄には4人に1人が回答、特に留学生からの感謝の声が多い

＜調査に対する意見例＞

- Thanks for conducting this type of survey. I appreciate it.
- Thanks for the opportunity of participating in this survey. I hope the information I have provided will be helpful.
- Good survey.
- Its an excellent initiative.
- Thank you for taking my information.

- このアンケートの集計結果ではなく、これを受けて何をどう改善するのかを公開してほしい。
- 調査への回答が博士課程に対する政策の方針を決定する際の一助となれば幸いです。
- ネットを使った調査は紙よりも対応しやすかった。
- 毎年実施することを望みます。

.....等、多数



ご清聴ありがとうございました

